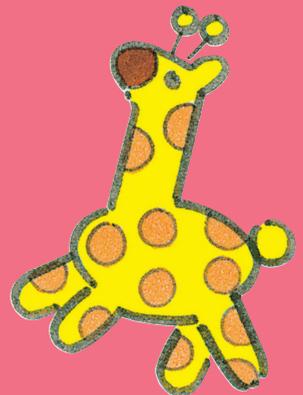
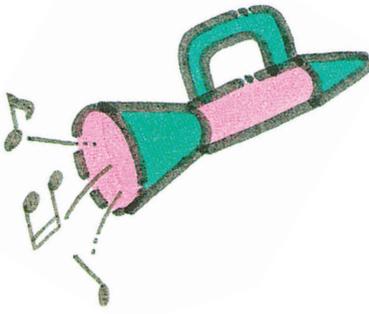


赤ちゃん、



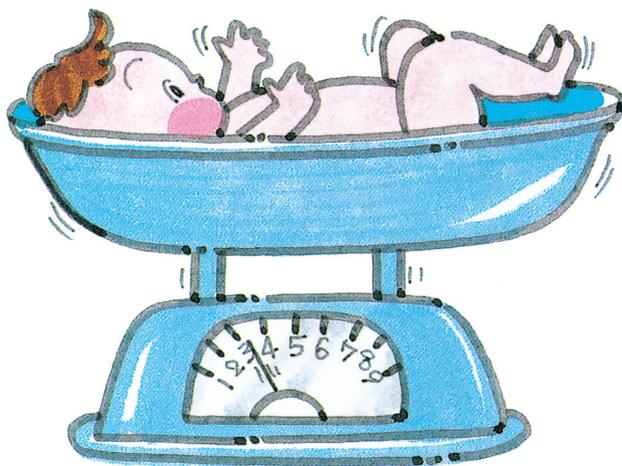
大きくなっ ていますか？



母子手帳を参考に
神経発達について
赤ちゃん、どんな遊びをしますか
子育てのポイント

赤ちゃんが生まれた時の体重は、ほとんどのお母さんにご存じですね。満期産であれば約3キログラム(身長は約50センチメートル)ですが、予定日より早く生まれた場合には、それだけ体重は小さくなりますし、逆に大きめの赤ちゃんもおられます。妊娠月齢に応じて、お腹の中の赤ちゃんも大きくなりますが、妊娠中にたばこを吸っていると赤ちゃんの成長が悪くて小さく生まれることもあります。医学の進歩によって、少々小さく生まれても何の障害もなく元気に育てられるようになりましたし、1000グラム以下で生まれたり、双子や三つ子の赤ちゃんでも元気に成長されています。

赤ちゃんの体の具合を知る一番の方法は、お乳をしっかり飲んでいるかどうか、体重がうまく増えているかどうか、ということです。普段から哺乳量や体重には注意を払うようにしましょう。





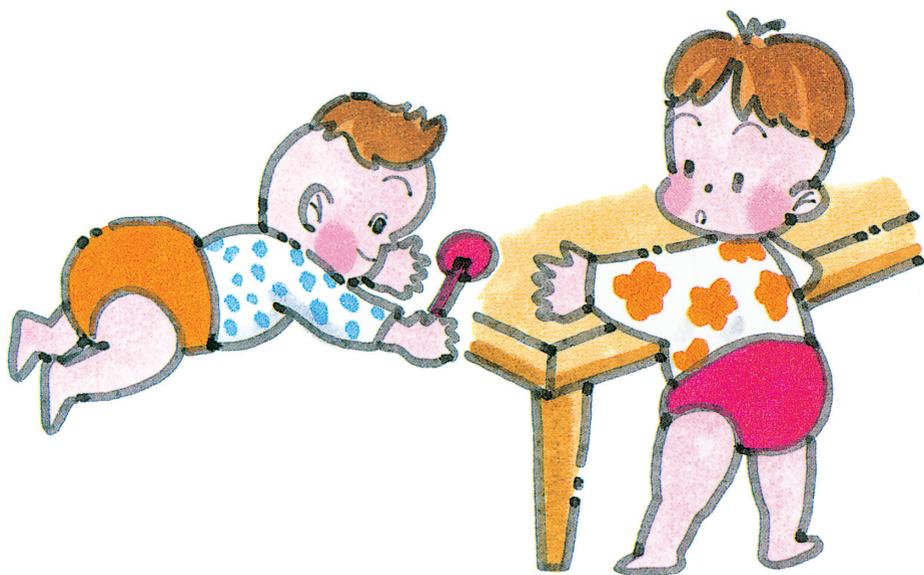
母子手帳を参考に

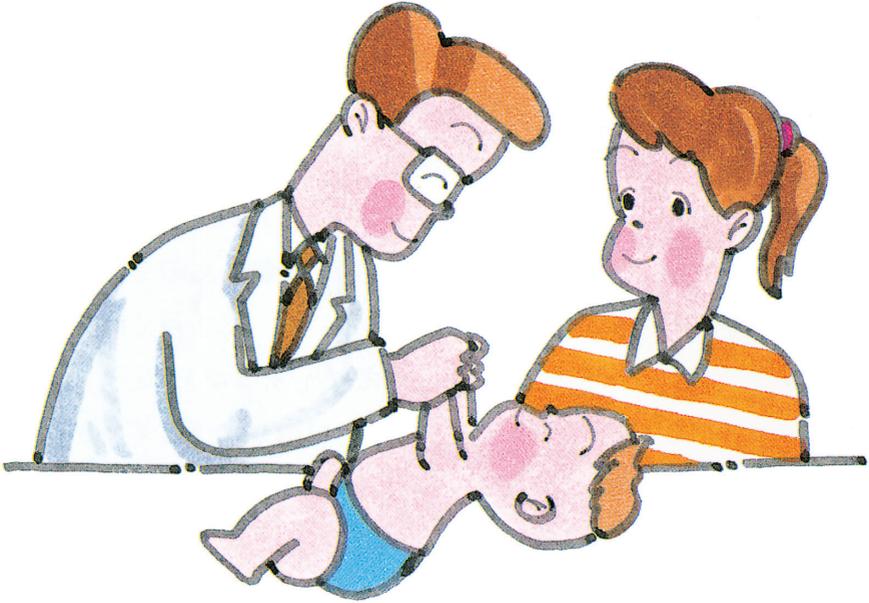
母子手帳には、赤ちゃんの身体発育のグラフが画かれていますので、お母さんの手で記入してみませんか。

1日あたりの体重の増え具合は30～35グラムで、最初の1カ月で約1キログラム増えることになり、生後3カ月で体重は2倍(3kgから6kg)、1歳では体重が3倍(9kg)身長は1.5倍(50cmから75cm)になります。体重が増えすぎの場合、肥満を気にする方もおられますが、活発に運動を始めると身体もスマートになりますからプロポーションが保たれていれば心配ありません。ただし身長に比べて、極端に体重が増えていく場合には病気が原因になっていることもありますから、専門的な検討が必要になります。

す。小児科医に相談しましょう。

逆に体重の増えが悪い場合は嚴重な注意が必要です。貧血や先天性心疾患、消化器疾患やホルモンの異常などが原因で、ミルクの飲みが悪かったり吐きやすかったりすることもありますから、早めに小児科医に相談しましょう。体重の増え方が悪いということは後に述べる脳の発達に必要な栄養も不足することですから、特に注意が必要です。体重の増え方が悪い場合には、眠りが浅くなったり、甲高い声で泣いたり、身体を突っ張りやすくなったり、便秘がちになることもあります。





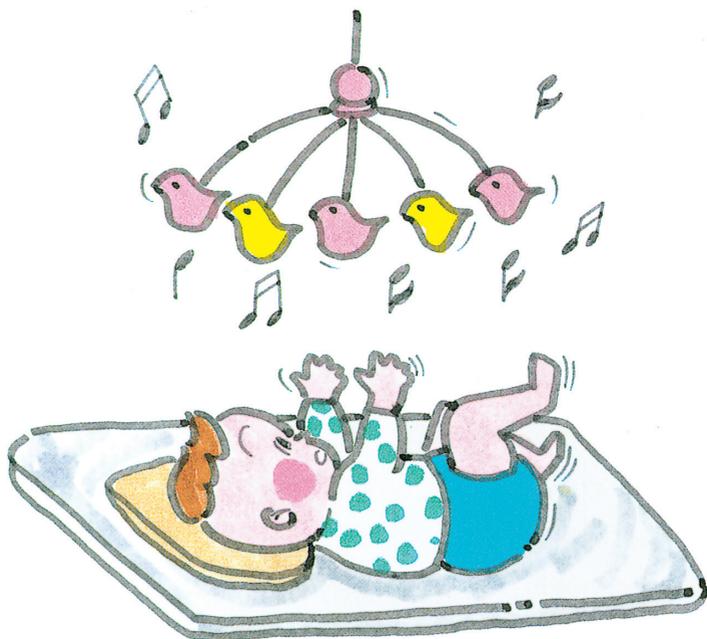
神経発達について

生まれたときの赤ちゃんの脳の重さは約350グラム、1歳では750グラム、大人では1400～1500グラムですから、1歳までに約2倍、それから大人になるまでに更に2倍になります。母子手帳をご覧くださいになると、生まれたときの頭囲が書かれてありますね。32～33cmの場合が多いですが、1歳では46cm、2歳では48cmと1歳までに急速に成長していることがわかります。この、目まぐるしいばかりの脳の成長に対応して赤ちゃんは目覚ましい発達をしていきます。

赤ちゃん、どんな遊びをしますか

母子手帳の中に赤ちゃんの月齢に応じて簡単なアンケートが入れていますから、時々参考にさせていただきたいと思います。

3～4ヵ月では「首がすわっているか」「動くものを目で追うか」「あやすと声をあげて笑うか」など、6～7ヵ月では「寝返りが出来るか」「おもちゃの持ち替えが出来るか」、9～10ヵ月では「ハイハイが出来るか」「おしゃべりをしようとするか」などの発達の目安がありますが、出来ていない項目があるようであれば小児科医に相談しましょう。





子育てのポイント

最後に、子育てのポイントをお話ししましょう。かつて、子育ては「親が子を育てる」ものだと考えられていました。ところが、最近の研究で「子供も親を育てる」ことが分かってきたのです。お子さんの顔を、じっとご覧になって下さい。お子さんの目を見ていると、たとえ生後1ヵ月のお子さんでもこちらを静かに見返しているのが分かります。「お母さん頑張ってる」「私がついているから、一緒にやっつけていこうね」というお子さんの心の声が聞こえたら、もう、それで育児は80%成功しているのです。

愛 媛 県
愛 媛 県 医 師 会
愛 媛 県 小 児 科 医 会

〒790-8585 松山市三番町4-5-3
☎ 089-943-7582